

11 / 17・白杵市社会教育委員会議

第4号では、11月の社会教育委員会議で行われたグループ協議の結果についてお知らせします。当日はAとBの2グループにわかれて協議。代表の方に発表していただきました。当日会議で出た皆さんのアイデア（付箋に書いていただいたもの）は、今後の皆さんの活動の参考になるとと思いますので、すべて掲載いたします。

テーマ) 若い世代を取り込みながら、顔見知りになるきっかけになるような取組は、どのようなことをしていますか？もしくは今後してみたいと考えますか？

公民館をどのように活用していきべきか？協議した。

A
発表

- 乳幼児・学童期・中3生教室など、いろいろ取組をやっているが特定の人しか参加していない。市報で広報するだけなので、子どもが知る機会がない。市報は子どもは見ない。子どもが楽しいと思うことを子ども目線で知らせることが必要。…アイパッドを1人1台小中学生は持っているので、情報がダイレクトに届くとよい。インスタグラムでお知らせするとか。
- 学童期が公民館を利用する機会がないので、誰でも月1公民館。公共バス利用して、1回来てもらって楽しさを味わってもらおう。
- 子どもたちが何を望んでいるか定期的にアンケートをとる。
- 高校生の利用者を増やすために講座を企画する。例えば1人暮らしのための準備講座(料理・掃除・デートDV・ネットトラブル・詐欺)

中央公民館に限定せず、地域にある公民館でやっていくという視点で考えた。

B
発表

- PTAや地域で活動している人が多かったので、取組はたくさん出ました。詳しくは付箋をみてほしい。
- テーマにある「若い世代」っていったい何歳なのか？まず話題にあがった。自分たちは、小さい子どもから子育て・働き手の方たち、公民館以外のところで役割がある人達と広く考えた。
- 何をしているのか？どういうところなのか？イメージの周知が必要。公民館だよりは若い人は見ない。若い人たちにマッチする周知の方法。
- 子ども食堂、子どもと一緒に作る、食育といった観点から、料理教室をみんなで作ってみるとか。全世代の交流をする取組はどうか？
- みんなで公民館新しくデザインしていこう。公民館のイメージを根本的に考え直してできることがあるのではないかとみんなで1回考え直してみよう。
- そういう機会を提供するのも良い。



白杵市
社会教育委員だより
第4号

イベントのアイデア

- ・月1誰でも公民館 ・一人暮らしのための準備講座(料理・掃除) ・デートDV講座
- ・18歳成人 ・ネットトラブル ・詐欺 ・地域、三世代交流会
- ・学校への協力(テニスボール収集・取付) ・地域振興協議会への協力(フェス、清掃)
- ・野菜や果物の収穫 ・ジャム作り教室 ・公民館教室内でのコラボ(にじっ子・亀城など)
- ・文化祭に出演してもらう(中学生のブラスバンド、保育園児のダンス、子ども太鼓、ダンス教室・ベリーダンス等で学んでいるこどもたち)→父母・祖父母等がみにくる
- ・プール解放・見守り ・フリスビー他の大会 ・昔あそび ・仮装
- ・山賊キャンプ(小学校PTAと子どもたち、地元の人たちとのコラボレーション、防災会の調理・実食を取り込んだキャンプを実施)
- ・地域の伝統的なおまつりと若い世代の方々がやっている〇〇とのコラボ ・地域活動への開放
- ・いろいろ相談→各機関へとつなく
- ・野津中、未来創造プロジェクト 食部会では産品を使っのメニュー作り、18日文化祭で発表
- ・植花活動 商店街の街路灯下のフラワーポット、町内ポケットパークの花植えを子どもたちと一緒に実施
- ・スポーツ玉入れ競技大会 老若男女が集ってのスポーツ玉入れ、一般成年と小学生のチーム対戦なども。・文化祭展示部門に小中高校生出品の呼びかけ
- ・スマホ教室(中高生が先生、生徒は高齢者)
- ・フットパス(まち歩き)～小雨の中、日常知っていながらなかなか歩くことのない道を歩きました。結婚して30年地元で暮らしながら、はじめて歩いたとの感想も・・・。
- ・ひまわりフェスタ～写真、絵手紙コンテスト
- ・地域交流の場としての企画イベント(田植え、稲刈り、こびり、自然体験、そうめん流し大会、もちつき大会、かるた大会、夏休み企画、クリスマス会、花見)
- ・みんな集まれ!!健康まつり(これまでのイベントを集約して福祉委員選任を機に実施したい) ・子ども大会(会員) ・フリーマーケット ・そうだカレーを食べよう(多文化共生を実現する催し) ・人と人をつなぐ。。お見合いマッチング ・食育の取組み、文化(給食メニュー作り、宝探しクイズ、工場見学) ・6人から映画祭(備品として配置していただいたプロジェクターを活用して6人集まれば映画上映) ・公民館で子ども食堂 ・音楽フェス(仮装・ファッションショー・コンサート・カラオケ) ・絵画、文化展 ・公民館、社会教育委員共催のコンクール

イベント以外のアイデア

- ・(小中学校に)子どもに直接情報が行くような情報公開。ipadで情報公開
- ・出張公民館やふくバス利用 ・インスタグラムなど SNS発信
- ・需要と供給(子どもたちが何を望んでいるか定期的にアンケートをとる)
- ・公民館だより以外のSNSやメディア(CATVほか)のお知らせ



- ・子ども達の公民館の利用方法を考える(学習スペースを作る)
- ・各地域にある公民館を利用した出張講座(公民館を利用してもらう)
- ・全市民対象の公民館イベントの開催
- ・コミュニティセンター図書室(ふれあい文庫)の整理、ポップ作成、配置 ・若い世代を取り込むのではなく、若い世代に入り込む!
- ・公民館をデザインしよう!!
- ・中央公民館、地区公民館の活用を子ども～若者(働く世代)がアイデアを出し、企画する
- ・ロゴ、キャラ設定

今年度活動のふりかえり by 事務局

今年度の活動を来年度へつなげるため、今年度の取組みをふりかえってみました。これをヒントに来年度の活動方針を年度初めの会議で提案いたします。よろしくお願いいたします。

若年層を取り込むための活動
についてグループ協議しました

11月

若年層に限らず、幅広い年齢層を巻き込むようなイベントのアイデアや、若い人向けの広報の方法、公民館の新しい活用方法など、多くのアイデアが出されました。(本号1・2P参照)

今年度のテーマと活動の3本柱を
確認しました

6月

一昨年・昨年の社会教育委員会議にて検討し、今年度のテーマを「地域コミュニティの活性化」と設定。

その具体的活動として『周知する』『互いを知る』『地域振興協議会の取組みを知る』を3本柱として取り組むこと確認しました。

新たな公民館の活用の第一歩として
親子で学べる人権文化セミナーを
開催します。委員の皆さんも受講生
の1人としてご参加ください。1月
次回

人権とは、人が幸せに生きていくために必要な権利のことで、白杵市まちづくり基本条例でも「人権尊重」は原則の1つとして示されています。

1月は当課既存事業の「うすき人権文化セミナー」を一工夫し、親子参加可能な内容で企画しました。その場限りでなく、家庭でも振り返って話ができるような、そんな学びの場を提供したいと考えています。

下ノ江地区・田野地区振興協議会
会長を講師にお招きして、
研修会を開きました

8月

協議会の目的や今後の課題についてお話が聞けました。

○設立の目的『近隣でぬくもりを感じられるような共助を拡充した共生社会の実現』

○協議会活動の最終目的『有事の際に共助できること。そのために普段から地域を知って人を知り、お互いの顔が見えるようにしておく』そのため、日々地域の人が楽しめるようなそんな催しを開催しているとのこと。

○若年層の参加が課題

協議後の教育長総括

貴重なご意見ありがとうございました。社会教育委員の在り方についてどう運営すべきなのか考えてきた。公民館運営審議会と社会教育委員会議があり、それぞれの役割をどう棲み分けすべきか。公民館運営審議会は、利用していく人たちがより利用しやすいように公民館を運営していく、一方社会教育委員は学校教育以外ということを守備範囲が広い。

我々のミッションとして、これからの学びの機会と場をどう作っていくか、またそのターゲットは誰なのか？例えば、高齢者の学びの場としては、亀城大学・白寿大学が活発に活動しており、高齢者の学びの場はすでにある。もう少し下の人たちをターゲットに学びの場を提供していくことが必要ではないか。また、場所は公民館以外にもいろいろ考えられる。

なぜ学びの提供をする必要があるのか？ということだが、今や人生100年時代といわれている。2007年以降に生まれた子どもは、50%以上が107歳まで生きるという説もある。学んで勉強して就職して、また学び直して仕事して・・・と、もう一回仕事する時代になる。そうなった時のため、「学びの機会をどのように子どもたちに提供していくか？」ということについて今後少しずつ議論できればいいと思っている。

また、「広報の仕方」について、今、20・30代市職員が「まちづくり企画力向上研修」を受講しており、企画・立案している。その中でいいなと思ったのが、自治体インスタグラム。これがあまりお金がかからないとのこと。私が教育委員会の分野で効果的と思っているのは、給食のほんまもん野菜。物価上昇に伴い、給食費をあげないように努力している。白杵の給食をいいね！といろんな人に知ってもらうことが大事かと思っている。

最終的にこの会議での協議の結果は、自分の所属する組織に返ってくると思うし、そのためにも担当にはいろんなことをしかけてほしいと伝えているので、どうぞこれからもよろしくお願ひします。